

## 家畜繁殖

講師名	武田 哲	実務経験等	家畜保健衛生所での獣医師としての経験を活かし、家畜の生理機能を理解し、家畜人工授精技術を習得するための講義・実習を担当している。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専攻科目	畜産・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編):(社)日本家畜人工授精師協会、自作プリント					
授業の目的	家畜繁殖の生理機構を理解し、家畜人工授精技術を習得する。					
授業の到達目標	発情を発見することと、精液を注入することができるようになる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月13日	神経・内分泌(内分泌概論)	内分泌概論(ホルモンと作用機序ほか)	2	講義	
4月13日	神経・内分泌(繁殖ホルモン)	繁殖に関連するホルモン	2	講義	
4月20日	雌の繁殖生理(発情周期)	発情周期とその制御・調節機構	2	講義	
4月20日	雌の繁殖生理(発情行動)	発情行動の観察方法及び検査(直腸検査、超音波検査)方法の概要	2	講義	
5月25日	雄の繁殖整理(性成熟と精子)	性成熟と繁殖共用	2	講義	
5月25日	雄の繁殖整理(牛の交尾と精液)	牛の交尾・射精と精液	2	講義	
6月1日	妊娠・分娩(受精と発生)	牛の妊娠と分娩(受精・発生、胎児・胎膜の発育と着床)	2	講義	
6月1日	妊娠・分娩(妊娠の経過)	牛の妊娠と分娩(妊娠の経過と妊娠診断、分娩と産褥、繁殖障害)	2	講義	
6月9日	人工授精技術(意義と法規制)	牛の人工授精技術(意義と法規制、精液の採取と検査)	2	講義	
6月9日	人工授精技術(性別別、精液の保管)	牛の人工授精技術(性別別処理、精液の凍結保存、保管と取扱い、精液の注入)	2	講義	
6月12日	雌の生殖器・精液注入実習	雌牛の生殖器・注入場所、注入器具の名称・操作法、直腸膣法による精液注入手順	4	実習	
8月20日	直腸検査・注入実習	雌牛の直腸検査、注入器具の操作法、直腸膣法による精液注入手順	4	実習	
8月24日	人工授精技術(衛生管理)	人工授精用器具器材の殺菌と消毒、人工授精業務の衛生管理	2	講義	
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、受講態度、レポート等の提出物の内容、出席状況を勘案して総合的に評価する。  
評価割合: 筆記試験80%、平常点20%(学習態度、出席状況)

履修に当たっての留意点等

- ・受講に際しては、事前に教科書等に目を通しておくことが望ましい。授業はテキスト及び自作プリントに沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。
- ・実習は総合科学実験棟又は牛舎で行うので、白衣又は作業服等を着用すること。爪は短く切っておくこと。